

アクティブ・オーナーシップ: 2023

意義あるエンゲージメント

アクティブ・オーナーシップは、お客様のために持続可能な価値を創造しようとすることを意味します。リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) の年次報告書で2023年のアクティブ・オーナーシップ活動を振り返り、進捗をご報告します。



「2023年、LGIMはお客様を代弁して数々のエンゲージメント活動に精力的に取り組ましました。LGIMには、責任ある機関投資家として、どうすればお客様に代わって影響力を最大限に行使できるのか熟考する責務があります。そして、「責任投資という手段でより良い未来を創造する」——これはお客様とLGIMが共有するパーパスであり、LGIMにおけるあらゆる取り組みの指針となっています」

ミッシェル・スクリムジャー

リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) CEO



数字で見る2023年



£3,781億ポンド¹

責任投資戦略による運用資産額



17

新たに提供を開始した責任投資戦略の数



148,794²

世界全体で議決権を行使した議案数



3,713

世界全体で議決権を行使した株主提案議案数



2,050³

LGIMインベストメント・スチュワードシップ・チームがエンゲージメントを実施した企業数



3

2023年株主総会シーズンに票決されたLGIMと有志の株主による共同株主提案数

注: 本文書は2023年におけるLGIMのスチュワードシップ活動について報告するものです。別段の記載のない限り、出典記載のない情報、データ、図表はすべて2023年12月31日時点のLGIM内部データを基にしています。

重要なリスク: 投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は保証されるものでなく、上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。

- 2023年12月31日時点。責任投資戦略の運用資産残高は、ファンドやお客様との投資運用契約口座のうち、ファンド文書またはお客様の投資運用契約に、ESG基準が意図的かつ積極的に表されているものの運用資産残高のみとなっています。2023年12月31日時点のLGIMの運用資産総額は1兆1,590億ポンドであり、責任投資戦略の占める割合は約33%でした。なお、この運用資産総額は、ファンド・オブ・ファンズ (FOF) の持ち株は二重計上せず、お客様の直接投資に基づいて算出した金額であり、有価証券およびデリバティブのポジションの評価額が含まれます。
- すべての運用資産を対象とします。「地域別の議決権行使に関する統計」セクションの議決権行使データは、2023年12月31日までの12か月間に、LGIMが自社のコーポレート・ガバナンスと責任投資ポリシーに準拠して、各ファンドで議決権を行使した全議案を表します。
- エンゲージメントのテーマと数値の内訳は、本レポートの5ページを参照してください。

LGIMの信念は……

……結果を伴うエンゲージメントこそが、世界規模で長期的かつ体系的な変化を成し遂げる最良の方法だということです。

2023年初め、LGIMはエンゲージメントの6つの「スーパー・テーマ」(6大テーマ)を最終決定しました。テーマ別に活動の概要を紹介します。

1. 気候

- LGIMの[クライメート・インパクト・プレッジ \(気候影響誓約\)](#)に基づいて、定量的評価を行い、ミニマム・スタンダード (最低基準) を満たしていないために反対行使の対象となる約300社を選別しました。
- 2022年から2023年にかけて、同プレッジの下、LGIMが直接対話する企業数はほぼ倍増し、100社を超えました。これらの企業は、その規模と行動を喚起する潜在力を考慮し、各セクターにおける気候変動対策の「ダイヤル・ムーバー」になりうると考えています。

2. 自然

- 2023年、LGIMの[森林破壊防止ポリシー \(Deforestation Policy\)](#)を更新し、このトピックに関して160社超の企業に対するエンゲージメントを実施しました。2023年は、森林破壊に関する議決権行使基準に基づき反対行使を適用した最初の年でした。
- 2023年中、数回にわたり英国の主要な水道会社、その大株主、業界規制当局とのエンゲージメントを実施しました。

3. 人

- 2023年、エスニック (人種・民族) ・ダイバーシティに関するエンゲージメント・キャンペーンを完了しました。また、英国と米国の大企業に対してエグゼクティブ・リーダーシップ・メンバー (経営陣) のジェンダー・ダイバーシティの改善を求めるエンゲージメントを継続しました。
- 世界的な食品小売大手15社に向けて、自社のオペレーションやサプライチェーンに存在する所得格差の是正を働きかけるために、明確なエスカレーション戦略を策定したうえでリビングウェイジ (生活賃金) に重点を置いたエンゲージメント・キャンペーンを開始しました。
- 2023年12月、LGIM初の[人権ポリシー \(Human Rights Policy\)](#)を公表しました。





4. 健康

- LGIMがマクドナルド (McDonald's) *で共同提案した薬剤耐性 (AMR) に関する議案が株主の20%弱に支持されました。
- 2023年を通して、多国籍企業ネスレ (Nestlé) *に対して栄養に関する共同エンゲージメントを強化しました*

5. ガバナンス

- 2023年、デュアルクラス・シェア・ストラクチャー (DCSS) を採用している米国企業の265議案に反対行使を適用しました。
- 英国の賃金競争力をめぐる議論に拍車がかかり、[英国と米国](#)の賃金に対するLGIMのスタンスを「地域別役員報酬ポリシー (Regional Executive Remuneration Policies)」で明確にしました。世界全体の実績を振り返ると、2023年には報酬関連の会社提案議案の52%に反対票を投じました (2022年は56%)。各社が公正かつ適切な長期業績連動型報酬に対するLGIMのミニマム・スタンダードを満たしていないことが否決の理由でした。

6. デジタル化

- 2023年、人工知能 (AI) に関してLGIMが企業に求める[期待値](#)を公表しました。重視しているのはAIのガバナンス面、特に企業がリスクと機会をどう管理し、透明性を高めるかという課題です。
- 商品としてAIシステムを開発している米国の4大テック企業 (Alphabet*、Apple*、Meta*、Microsoft*) に対するエンゲージメントを実施しました。

上記は、例示のみを目的としています。特定の証券についての言及は、過去の事象に基づいており、その証券がLGIMのポートフォリオに現在保有されていることも今後保有されることも意味するものではありません。上記の情報は証券の売買を推奨するものではありません。

インベストメント・スチュワードシップ・チームの2023年エンゲージメント実績




2,500件
エンゲージメント



364件
会議や電話

最も頻繁に話し合われたテーマ
気候変動



2,136件
書面によるエンゲージメント



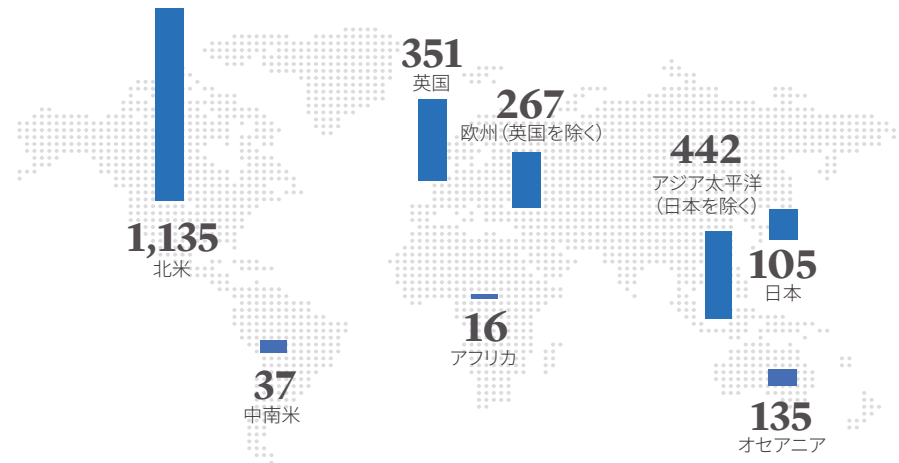


エンゲージメント総数の内訳

エンゲージメントのテーマ別内訳*



エンゲージメントの地域別内訳



エンゲージメントの上位5テーマ*



*注：一度のエンゲージメントにおいて複数のテーマを扱う場合があります。

受賞歴

業界および同業他社からの支持

LGIMは常に業界をリードする結果を出すことを目指しています（その成果は、このページの受賞歴からおわかりいただけると思います）。しかし、達成したことに安住しているわけではありません。外部の評価や監視は、気を引き締め、たゆみなく改善を続けるモチベーションになっています。



ESG INVESTOR
OF THE YEAR



2023年の第三者組織からの表彰

- UN PRI (国連責任投資原則) から、「ポリシー・ガバナンスおよび戦略」「パッシブ運用株式」「不動産」「SSA債」「社債」の5分野で最高評価「5つ星」を獲得¹
- ShareActionから責任投資の取り組み方に対して「A評価」を獲得²
- Influence Mapから「A+」の気候ステュワードシップ・スコアを獲得³
- ネットゼロへの移行に重要な役割を果たす企業取締役にもバリ協定の1.5°C目標に沿ったオペレーションやビジネス・モデルを徹底する責任を課すための議決権（代理）行使におけるLGIMのリーダーシップがMajority Actionに認められる⁴
- インデックス運用が主体の資産運用会社でありながら、積極的な議決権行使がShareActionに認められる⁵
- モーニングスター (Morningstar) の最新アナリスト・レビューで「Advanced」と評価されるESGコミットメント・レベルを維持
- 資産運用会社のESGアイデンティティを定量的に評価する指標、ESG Identity Asset Manager Assessment (ESG.IAMA) で「leader」のラベルを獲得

責任投資の取り組みが評価され、次の業界賞も受賞しました。

- Pensions Age Awards – [Sustainability Provider of the Year](#) (サステナビリティ・プロバイダー・オブ・ザ・イヤー)
- City A.M. Awards – [ESG Investor of the Year](#) (ESGインベスター・オブ・ザ・イヤー)
- Salone dello SRI – [Corporate ESG Identity](#) (コーポレートESGアイデンティティ) 1位
- Salone dello SRI – [ESG Asset Management](#) (ESGアセット・マネジメント) 1位

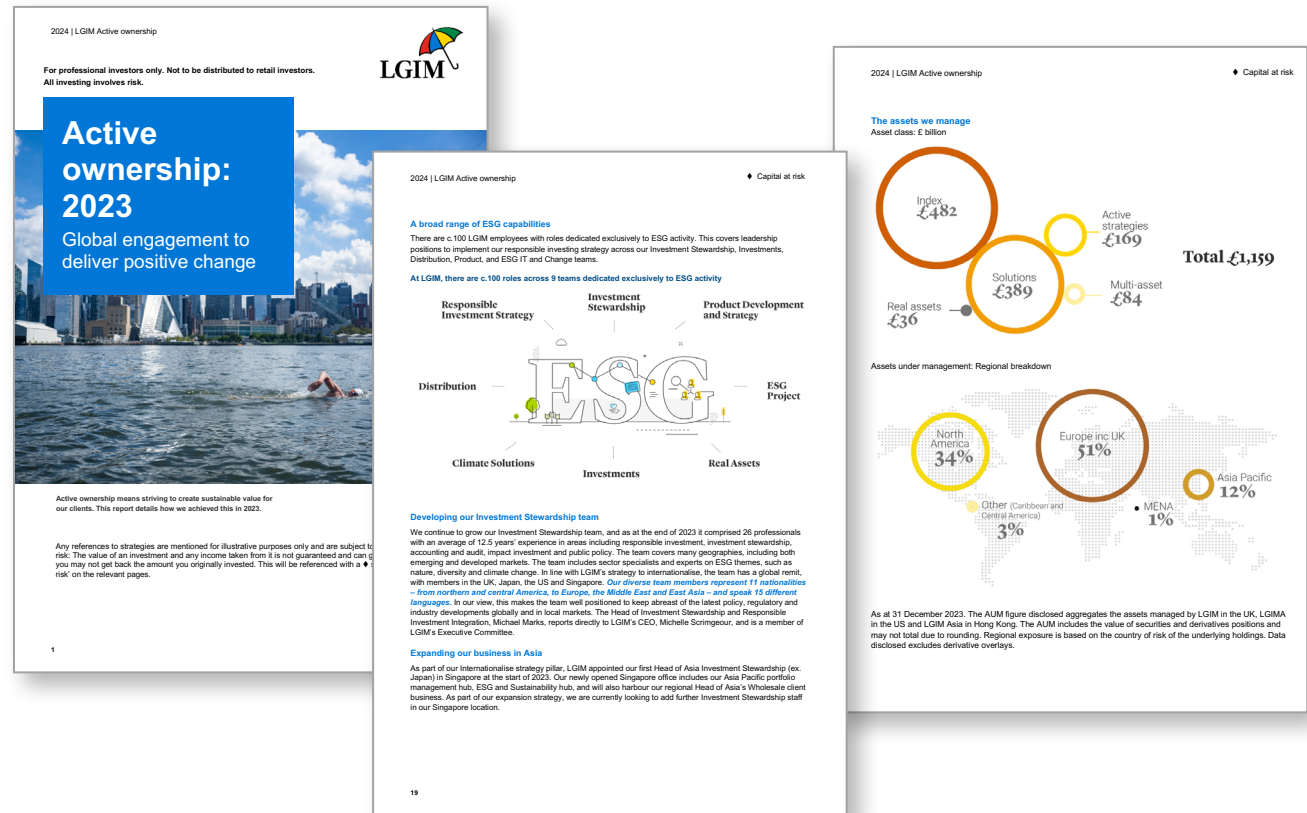
受賞は投資を推奨するものではありません。過去の実績は、将来の実績を示唆するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は保証されるものでなく、上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。

1. PRI summary scorecard 2023, January 2024.
 2. ShareAction, Point of No Returns 2023: Part I – Ranking and General Findings, February 2023.
 3. InfluenceMap, Asset Managers & Climate Change 2023, August 2023.
 4. MajorityAction, Climate in the Boardroom, 2023.
 5. ShareAction, Voting Matters 2023, 2023.

レポート全文

2023年のLGIMにおけるアクティブ・オーナーシップの詳細については、下記のウェブサイトより本レポートの全文をご覧ください。本文書で取り上げた事例以外にも、前向きな変化を推進するためのLGIMの取り組みを多数紹介しています。
www.lgim.com/activeownership

LGIMインベストメント・スチュワードシップ・チームは、LGIMのブログやポッドキャスト・チャンネル「LGIM Talks」でも最新情報を定期的に発信しています。



お問い合わせ

LGIMについての詳細は、lgim.comをご覧ください。LGIMの営業担当者までご連絡ください。



重要なリスク

投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は保証されるものでなく、上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。

重要情報

本文書で表明されている見解は、リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・リミテッドやその関連会社（「リーガル・アンド・ジェネラル」または「当社」）の公表時点における見解です。

本文書は情報提供のみを目的としており、それに基づくいかなる行為も勧誘するものではありません。掲載情報は、一般的な経済、市場、政治の問題、業界やセクターのトレンドについて論じています。調査、あるいは投資、法律、税金の助言ではありません。証券の売買や特定の投資戦略の実行を勧誘、推奨、宣伝するものでもありません。

いかなる者も、本文書の掲載情報について、その正確性や完全性に関してリーガル・アンド・ジェネラルに対し訴訟を起こす権利を持ちません。掲載情報は、公表日において正しいものと考えますが、公表後に入手可能になりうる情報に照らして完全性および正確性を保証するものではありません。リーガル・アンド・ジェネラルは本文書の情報を更新または修正する義務を負いません。本文書に第三者の情報が含まれている場合、その情報の正確性と完全性は保証されません。リーガル・アンド・ジェネラルは、その情報に関して一切の責任を負いません。

リーガル・アンド・ジェネラルの書面による事前の許可なく、本文書の全部または一部を複製したり、第三者に配布したりすることはできません。そのような配布が現地の法律または規制に反する法域に居住する個人への配布は禁止されています。

© 2024 Legal & General Investment Management Limited, authorised and regulated by the Financial Conduct Authority, No. 119272. イングランドとウェールズにて登記 (No. 02091894)。登録所在地: One Coleman Street, London, EC2R 5AA

LGIMグローバル

特に明記しない限り、本文書において「LGIM」および「当社」と述べる場合、Legal & General Investment Management Ltd. (英国FCA認定アドバイザー)、LGIM International Limited (米国SEC登録投資アドバイザーおよび英国FCA認定アドバイザー)、Legal & General Investment Management America, Inc. (米国SEC登録投資アドバイザー)、リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社 (日本金融庁登録投資顧問会社)、Legal & General Investment Management Asia Limited (香港SFCライセンス会社)を含むグローバル・コングロマリットを意味します。LGIMスチュワードシップ・チームは、これらの現地で許認可を受けた全事業体を代表して行動します。

LGIMアジア

香港: Securities and Futures Commission (SFC/証券先物委員会) の許可を受けたLegal & General Investment Management Asia Limitedが発行者。シンガポール: Monetary Authority of Singapore (シンガポール金融管理局) によって規制されるLGIM Singapore Pte. Ltd. (企業登録番号202231876W) が発行者。